

夢の基地を目指して
ここをヒトが集まれる場所に…

WFP ダチョウ・ファーム・ヴィレッジ便り



Photo:Miho Kuwaki

先号のこの写真、憶えておいてもらうか？ そう、「WFP ダチョウ・ファーム」である。仕掛人である今田圭介さんを「国王」に迎えて「ダチョウ王国」宣言をしたのだが、謙虚な「国王」は、よりひとが集まってもらうのは「王国」ではなくもっと民主的なものにしたい、と。その名も「WFP ダチョウ・ファーム・ヴィレッジ」として、いよいよ本格的にスタートを切ることになった。

もちろん完成までを追い掛けさせていただくつもりになっている本誌、ついでには現況と予定をまとめて報告しておこう、というわけである。

●ひとが集える「村」をつくりたい

もういちどおさらいしておこう。そもそもは多くのひと、それも趣味のあるひとたち、モノづくりを目指すひとが集える場所をつくりたい、と志す今田さんが、北海道のもと牧場を開墾して「村」をつくらうと動き出したのだ。

場所は日高地方、鷗川（むかわ。いまではひらがな表記になっている）の地 100ヘクタール（東京ドーム 20個分）にまずは農地を開拓しすでに収穫も行なっている。

それとは別に 70ヘクタールのもと牧場の建物を利用するなどして、ひとが集まれる施設づくりがはじまったところだ。

7月にクルマ好き仲間と 4 台のクルマで現地を訪問、クルマを並べてイメージ写真を撮影すると同時に改築前の施設を見せていただいた。

「この厩舎は改築して宿泊施設とオフ会が楽しめるラウンジのような施設。下にはバイクやクルマも置けるガレージだけでなく、メンテナンス設備も用意したい…」

などと話を聞かせていただき、われわれもここでちょっとしたイベントを開催できたら、はたまた、仲間と北海道ツーリングなんてできたらいいなあ、と夢を膨らませているのだ。

●とりあえずの青写真を…

いくつかの完成予想パースを提供いただいたので紹介しよう。そうだ、その前に「王国」改め「ファーム・ヴィレッジ」のシンボルたるダチョウを使ったロゴもつくられていた。

「ダチョウ王国」改め 「ダチョウ村」開村宣言



ひとが集まれる施設として、バイクやクルマとともに簡単な宿泊をできる施設、それとは別に一棟貸し、三棟貸しのゲストハウスが予想パースとして準備されていた。

これなど、同じクルマ好き仲間を募って小さなイベントも開けそう。周辺はもう気持ちのいい道路があちこちだから、ちょっとロングステイして夏休みをここで満喫、なんていうのも悪くない。

もともとがファーム・ヴィレッジだ。農業の特色を活かして、農業の収穫体験を組入れた「アグリツーリズム」、付近の牧場からの新鮮な素材を使った「ピッツァづくり」体験などの、ひとが集まるためのメニューも現在進行形で企画されているようだ。

いずれにせよ計画は着々と進められている。こののちも逐次レポートして行く予定。乞うご期待、である。



「バイク ホテル」として計画されているもと厩舎。斜面にあったことから、裏手はいきなり二階部分への入口になる。このスペースはオフ会のラウンジ会場になる予定。



自身も熱心なクルマ好きの今田圭介さん。ここをたくさんのひとか集い、楽しむことのできる場所にしたい、と熱心に語る。もちろんクルマのイベントも大歓迎。そのための広場も計画されている。

右は三棟貸しのゲストハウス。夏に撮影した上の写真でも、外観はご覧の通りちょっとしたリノベーションと周辺の整備で完成できそう。仲間を集って滞在型の北海道ツーリングなんて楽しそう。

左はインフォメーションを兼ねたカフェ・ラウンジ。のんびりゆっくりの時間を。



夢の基地を目指して
ここをヒトが集まれる場所に…

WFP ダチョウ・ファーム・ヴィレッジ便り (2)



「ダチョウ王国」改め
「ダチョウ村」開村宣言



冬の北海道、さそや大雪で覆われた真っ白な大地を思い起こすかもしれないが、「ダチョウ村」周辺のむかわ（鶴川）地方は雪は少ないところとして知られている。

「去年の年末は珍しく、むかわでも雪が多くあったのですが、年が明けてからは比較的温かい、穏やかな日がつづいています」

と。上の写真が送られてきた。

冬でもクルマで大丈夫普通に走れる、というのが解る。そんななか着々と工事は進められている。

「ダチョウ村」と改められた夢の基地計画、仕掛人である今田圭介さんは精力的にむかわの地を往復し、陣頭指揮を行なっている。

昨年12月には、村長の友人家族など16名ほどの団体が「テスト入村」とばかり、一週間宿泊施設の体験滞在を行なった、という。

ちょうど雪も降って、みなさん楽しんでくださったようです、といいつつ、「ワインセラーを作りたい、大きなゴミステーションが欲しい、ってコメントでしたから、それ以外の基本的施設については満足いただけたいです」

それとはべつに、鹿の来客もありましたけれど…と、自然豊かなところであることを思わせてくれる。

● ログハウス一棟追加予定

バイクホテルやオフ会会場などに使える大きな厩舎はフロアを新しく

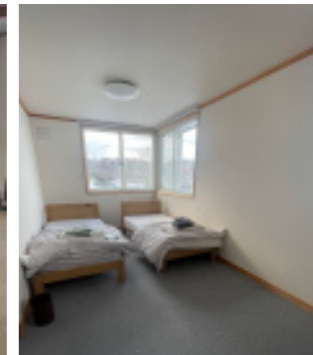
「村長」こと「ダチョウ村」の企画者である今田圭介さん。自身もクルマ好きで趣味人に理解あり。

し、窓ガラスの入換えなどが完成した。ウツの柱もいい雰囲気です、それこそいろいろな目的に使いそう。

またフィンランド風のログハウス一棟も新築予定で、ゲストハウスが増強される予定。それを含め、3月からはいよいよ夏に向けてカフェやロッジの最終的なリノベーションがスタートする。次号ではどんな報告ができるか、ますます楽しみな「ダチョウ村」。この夏は、ぜひみなさんと集まりたく。



上のロッジから少し散歩すれば、右の北海道らしい白い世界。



ロッジに「テスト入村」した友人家族が撮ってくれたという写真。雪も降って満足な一週間が過ごせた、と。下の一棟を新築予定。



大きな厩舎は床がすっかり新しくされ、窓も入換えられた。明るく広いスペースはいろいろな目的に使いそう。

右の広いスペースがイベントスペースに整備される予定。ここにズラリとクルマが並ぶシーンを夢見ている。



夢の基地を目指して
ここをヒトが集まれる場所に…

WFP ダチョウ・ファーム・ヴィレッジ便り (3)



「ダチョウ王国」改め 「ダチョウ村」開村宣言



「村長」こと「ダチョウ村」の企画者である今田圭介さん。自身もクルマ好きで趣味人に理解あり。

「雪や氷も溶けて、どんどん工事が進んでいます」

「ダチョウ村」と改められた夢の基地計画、仕掛人である今田圭介さんから知らせが届いた。一番は上下水道の工事。上水道は保健所のお墨付の綺麗な湧水が引かれるというから、都会の水道とはちがった「おいしい水」が楽しみである。

トなどが開催される時の会場になるであろう場所も、草が刈られ整地が進んでいるようだ。

一棟が増設されたロッジが並ぶ「ダチョウ村」中心部では景観を整えるガーデニングの作業が進められ、一方新築の一棟をはじめ、内装工事など仕上げの工事に掛かって、着々と完成に近づいている。

● 全体的に仕上げの工程に

北海道といっても日高地方は雪が少なく、比較的温暖な気候が特徴だが、それでも春は待ち遠しいものである。すっかり雪もなくなったのを機に、工事は着々と進められている。

村に入ってすぐ左の広場、イヴェン

● 交通至便な「むかわ」の地

むかわ、かつては鷗川と漢字で書かれ、日高本線の終着駅名も漢字だが、町名はむかわ。国道 235 号線を使えば空港から 30 分少し、フェリーで苫小牧だともっと近い。走って楽しい北海道のこと、逆に「こんな近く？」といわれてしまうかもしれない距離だ。

「ロッジ広場には BBQ や焚き火などができる設備も予定しています。早く、来客の楽しい歓声が聞こえるようにしたいですね」

夏には一部オープン予定。われわれも待ち遠しい「ダチョウ村」である。



「ダチョウ村」のあるむかわは襟裳方面に向かう国道 235 号線沿い。千歳空港から 30 分ちょっと。苫小牧はもっと近いので便利。



夢の基地を目指して
ここをヒトが集まれる場所に…

WFP ダチョウ・ファーム・ヴィレッジ便り (4)



「ダチョウ王国」改め 「ダチョウ村」開村宣言



「村長」こと「ダチョウ村」の企画者である今田圭介さん。自身もクルマ好きで趣味人に理解あり。



「バグピック」帰りの小松利昭さんが夕暮時、「ダチョウ村」のようすを見に立ち寄ってくれた。

趣味人が集まれる場所をつくりたい、北海道むかわ市のもと牧場を使って、新しい夢の基地計画「ダチョウ村」は、着々と工事が進んでいる。仕掛人である今田圭介さんから届いた最新レポートを紹介しよう。

● イベント広場が準備万端

正面左側に広がる緑はクルマも乗り入れ可能な牧草地、いうまでもない、イベント等を開く会場になる広場だ。ちゃんと進入路が設けられ、将来に向けて草の種も蒔かれている、という。来年のシーズンには準備万端、とところどころだろうか。

その広場やロッジなどはほぼ完成し、追加のロッジもうひと棟とカフェがただいま進行中、というところだ。

それにしても空の青さ、空気のおいしそうなことは、写真を見ただけでも伝わってくる。緑に包まれた景色を大きな窓から眺めながら、ゆったりとした時間を楽しむのは、「ダチョウ・

ファーム」の第一のセリングポイントになるだろう。

で、その景色のなかにお気に入りのクルマが置かれ、その気になればすぐにでも走り出せるとしたら…

● 交通至便な「むかわ」の地

そういえば、ここを訪問したのは1年前。VW ショップ「メリーメーカー」が主催するイベント「バグピクニック」に参加し、その翌日にVW 乗りの桑木さん夫妻、小松さんと一緒にまだ計画中の「村」を訪ね、今田さんの夢をお聞きした。

札幌からクルマ好きの高橋さん兄弟も駆けつけてくださった。ことしも「バグピク」帰りの小松さんがTyp2で立ち寄ってくださった、と。送ってくれた、夕方逆光のなかの写真でも、空気の透明感が北海道らしい。

よーし、こんどはここでクルマのイベントを。夢が膨らむのだった。



三角屋根の寝室、大きな窓の外の緑、心地よさそうなウツの壁… ロッジはほぼ完成。



「ダチョウ村」のあるむかわは千歳空港から30分ちょっと。フェリーの便がある苫小牧はもっと近いので便利。

夢の基地を目指して
ここをヒトが集まれる場所に…

WFP ダチョウ・ファーム・ヴィレッジ便り (5)



「ダチョウ村」開村宣言



「村長」こと「ダチョウ村」の企画者である今田圭介さん。自身もクルマ好きで趣味人に理解あり。



● 2026年にはオープン予定

お気に入りの下の写真、正面の建物はガレージになる。赤いフィアットが収まる予定だ。左上のA棟の大きなテーブルも拘りの品。ちょっとした会議もできそう。大きな窓の外は自然の緑が果てしなくつづく。

左は、もと厩舎のサロン。すっかり完成し、こん回のイベントでも昼食会場になった。着々と夢が現実のものになっていく楽しみがある。



夢の基地を目指して
ここをヒトが集まれる場所に…

WFP ダチョウ・ファーム・ヴィレッジ便り (6)



「ダチョウ村」開村宣言



「村長」こと「ダチョウ村」の企画者である今田圭介さん。自身もクルマ好きで趣味人に理解あり。

● 2026 年春にはオープン予定

「冬もいいですよ、是非いらしてみてください」と送られてきた写真は、なんと素敵な冬の日の出。雪は積もってもせいぜい30センチくらいだ、と。

昨秋は一番下の状態だったカフェも、完成近しの状態になっている、と。着々とオープンに向けて進んでいる様子。みなさんで集まったら楽しいだろうなあ。秋の「LOOP」イベントにも参加予定。そちらも楽しみだ。

<https://wfp-dachofarm.hokkaido.jp>

